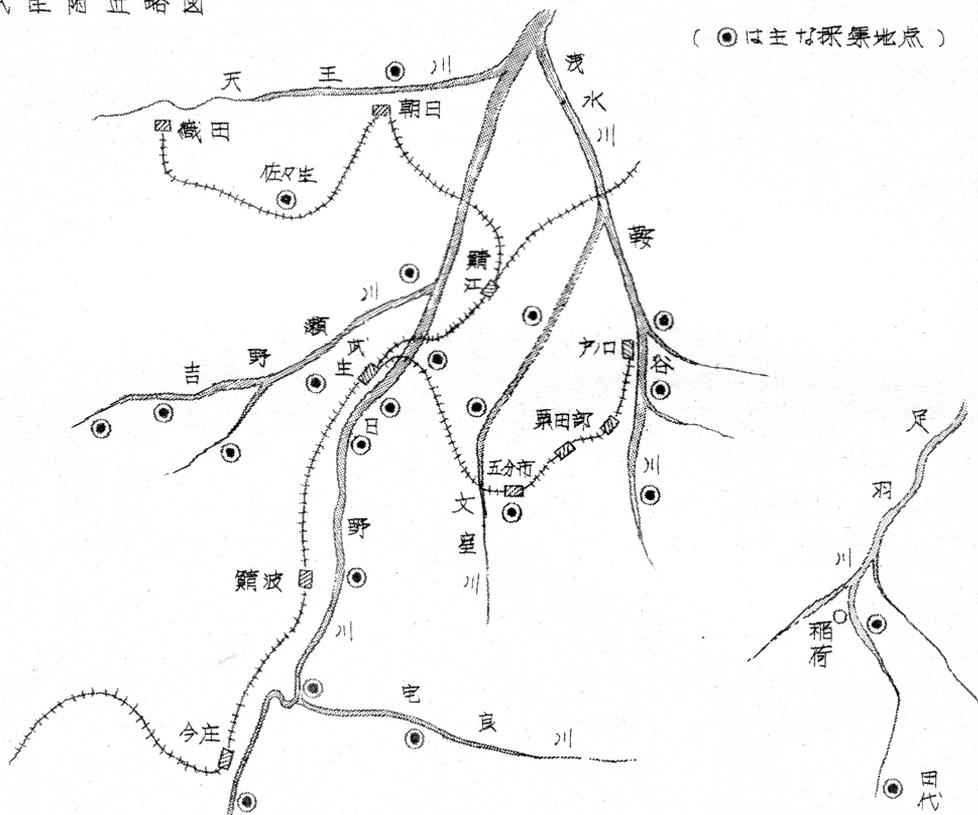


(研)

武生附近略図



福井県内羊歯に関する二三の知見

Some Notes of Ferns in FUKUI-prefecture .

福井県立藤島高校 蟹本 信雄

最近1954、12福井県博物同好会誌NO.2 (P34~45)に掲載しました越前東部羊歯目録を補充すると共に広く県内全般について羊歯の分布、又新採集品を追加し、併せて今後あるたろうと思われる数種について述べてみたいと思います。

県内分布の状況及びその要因については、既に述べておりますので一切略しますが、北方系のもの、南方系のもの、夫々混然と分布し、載に興味ある分布相を呈して居ります。嶺南地方は未だ採集回数少く、到底分布について又々出展ませんが、暖系のものが相当入り

近畿の羊歯相に近く未だ未だ追加されるべき多数の Sp があることを信じます。将来の目録作製の一つの原稿と考えて下さい。

Gleicheniaceae ウラジロ科

△◎ *Dicranopteris dichotoma* Berh コシダ 若越共に海岸地帯山地 越前は稀

Polypodiaceae ウラボシ科

Polystichum キノトモ属

P. retroso-paleaceum Tagawa var *ovato-paleaceum* Tagawa ツヤナシキノトモ
従来に見付けられていたのは殆んど、サカケキノトモ、ツヤナシキノトモは Scale
開出上向黒味全くなし、東勝原産のもののみ。(Type 標本 提示)

P. pseudo-makinai Tagawa var *ambiguum* Tagawa キノトモドキ
分布相当広く sori が裂片の縁につくことによりて、キノトモと区別出来る。黒
味全くなし、上池田、四尾、永平寺、稍苜原。

P. pseudo-makinoi Tagawa サイゴクキノトモ
Scale に黒味交る。大野龜山、小山にあると 福井方面に未だ見ず。分布が有
限されている様である。

Phanerophlebia (= *Cyrtomium*) ヤブソテツ属

非常に見分けにくいものにヤマヤブソテツとヤブソテツがある。後者羽片ノズ〜26
対、包膜円形完全。前者は下方の羽片大形巾広く5〜ノ5対、包膜に鈍歯 (Byohwi)
)。共に包膜中央淡色、若し褐色なればツクシヤブソテツ、又はミヤコヤブソテツ
後二者共に関東以西に分布しあるため、嶺南には存在してもよいのではないかと思
われる。(Type 標本 提示)

Lastrea オオバシヨリマ属

△◎ *L. Migueliana* Tagawa コハシゴシダ

若狭本郷、野尻、敦賀西方岳(嶺)越前にも産すると思われるが今の所不明。
ハシゴシダに比して葉身の基部狭くなる。包膜に長い縁毛をもつ点にて区別。
(Byohwi)

Rumohra カナワラビ属

よく似ているものにオオカナワラビとハカタシダがあるが、後者は葉尖穂状、
最下羽片に著名なる単羽状の羽片をつける点にて区別。尚この Genus に入るもの
には

△◎ *R. amalilis* (BL) Ching オオカナワラビ 敦賀西方岳 (Hovi)

前者に比して葉身うすくて Sori 縁辺につく。

△◎ *R. aristata* Ching ホソバカナワラビ 若狭大島半島、本郷。

葉尖、尾状葉まはらにつく。

△◎ *R. pseudo-aristata* (Tagawa) H, ITO コバノカナワラビ 大島、本郷。

(研)

葉先、断欠、狭少、葉はかさねてつける。(前者に比して)

Dryopteris フシタ属

△◎ D. nipponensis koidz トウゴクシタ 若狭大島 屈着島

Scale 黒褐色、絨状、之とよく似ているオオバニシタ D. hondaensis koidz
とは Scale 茶褐色、絨状にならない点にて區別 (By kurata)

①◎ D. hikonenensis H. ITO (By Tagawa) キンキイタチシタ 若狭本郷、大島半島

②◎ D. kinkinensis koidz キフベニシタ (=キンキベニシタ、ウスバサイゴクベニシタ、ベニシタモドキ) (By kurata) 大野町龜山 (稀)

③◎ D. pacifica Nakai オオイタチシタ (By kurata) 冠山 河内。(原葉型)

△◎ D. championi Ching サイゴクベニシタ (By kurata) 石徹白、扇上八幡、竹田上流、南糸牧谷峠 (Hori)

大井氏によりますとオオイタチシタ Dryopteris varia O. kuntz var subtripinnata H. ITO (= polystichum pacificum Nakai) とあり、ヒメイタチシタは Dryopteris varia O. kuntz var sacrosanct OHWI としてその Synonym として Dryopteris Bissetiana var sacrosancta Nakai を挙げて居られるが、Tagawa 氏のいう Dryopteris Bissetiana C. Chr とは記載を異にしているようである。それでここでは D. Bissetiana, C. Chr ヤマイタチシタは目録にはそのままとして置きたいと思ひます。ヤマイタチシタ、オオイタチシタ共に越前山地に広く分布しているかと思われ、又 D. varia O. kuntz イタチシタモドキ、(旧名イタチシタ) 及び D. varia O. kuntz var setoa (Thunb) OHWI イタチシタ共に分布するのではないかと思ひます。

④◎ D. saxifrage H. ITO イワイタチシタ 部子山 (博)

博物同好会報 No. 2 の新採集報告・羊歯の部にオクヤマワラビ Dryopteris uniformis Makino 三方町とあるのは学名よりみてオクヤマワラビの間違いと思ひます。オクヤマワラビなら D. amurensis H. christ で北方系のもの、アムール、樺太、北海道で、本州は極めて稀のことです。

Cornopteris シケチシタ属

C. hakonensis Nakai ハコネシケチシタ 五箇、勝原

シケチシタ C. decurrenti-alata と異なる所は羽軸、小羽軸の裏面に単細胞の毛が生えている点が異なり (By kurata)。シケチシタの小羽片の切込が深くなったヒロハシケチシタ (西勝原産) の極端品と大変似てくる (Hokuri Ru. J. Bot. Vol. 6 NO 3) 猶之の近縁種にイッポンワラビ C. crenulato-serrulata は石徹白 (1935、細井与右エ門) が南眼になっている点が面白い、猶旧目録 (昭和) に記載しあるオオシケチシタ Diplazium christensenianum

koidz (= *Athyrium musashiense* C. Chr.) は別名タカオシケシタで (朝鮮
台湾、井口) 何かの間違ひではないかと思われませんが今后よくしらべたいと思

Athyrium イヌワラビ属

この中ですぐ間違ひやすいものにヒロバイヌワラビヒカケワラビとカクサイヌワラビあり。前者は羽軸裏に微毛あり、後者にはない。又後者は第一裂片大きく円頭、羽片の柄着名、ヤヌイヌワラビとの区別点は Sowi が鈎状に曲らない。(Bykurata & CHWI) 共に相当分布広い。

- ⑤⑥ *A. reptans* kodama ミヤマヘビノネゴザ ミの峯 1955.7
 ⑥⑦ *A. multifidum* Rosenst. f. *acutissimum* (kodama) kurata トカリバメシタ
 (= *A. solutum* var. *acutissimum* tagawa) (By kurata)
 サトメシタの forma. サトメシタに比して葉面長楕円形状 披針形、下部羽片狭小となる。 冠山 河内郡落
 ⑦⑧ *A. unifurcatum* C. christ オオヒメワラビモドキ 永平寺
 オオヒメワラビに比して羽状浅裂、深裂(二回にならず)鈍、円頭、波状歯

Diplazium ヘラシタ属

シケシタ *D. Thunbergii* Nakai によく似ていて、赤紙集のものにセイタカシケシタ *D. dimorphyllum* koidz. がある。前者は葉裏無毛に比して、後者は有毛、葉葉全面卵形の点にて区別、シケシタの非常に変異性にとむ点よりみて本属に必多分存在すると思ふ。セイタカシケシタの極端に有毛になったものはムクハシケシタ *D. Riusianum* koidz. がある。

D. bittyuense Tagawa ヒツチユウヒカケワラビ (オニヒカケに比して葉直うすく終裂片まばらにつく。) 永平寺 (之はその後見当らない、昭. 4. 以後) 故に目録より省くのがよいと思ふ。現存するものは皆オニヒカケワラビ *D. nipponicum* Tagawa. であると思ふ。

- △⑨ *D. Mettenianum* (Mig.) C. chr. ミヤマノコギリシタ 若狭一ツ谷、山地 稍普通
 △⑩ *D. lanceum* presl. ヘラシタ 若狭、大島半島 (旧目録には坂井、藁村とあり)
D. hachijoense Nakai シロヤマシタ 暖系であるが大野小山村、勝原、岩屋、等ありて今後の分布が面白い。

Asplenium とらのをしだ属

- ⑩⑪ *A. Sarelilii* Hook. ゴバノヒノキシタ 若狭本郷、野尻、丹生郡、糸庄村 前田又右エ門 (H. J. B. vol. 1, no. 3, 1952)
 △⑫ *A. normale* Don スリトラノオ 若狭一ツ谷、南糸 (南仙山)
 又この genus に入るものにチヤセンシタに似ている、イヌチヤセンシタ (三稜

(研)

翼つき. 葉柄) *A. tripteropus* Nakai の存在すると思われるが今の所不明。(日本. 越中. 伊豆以西)

△◎ *A. oligophlebium* Baker カミガモシタ 若狭. 佐分利. 遠敷
Pyrosia ヒトツバ属

⑨△◎ *P. linearifolia* (Hook) Ching ヒロードシタ 南条. 羊カ平 (Hovi)
北限でない. 本. 北海道迄分布.

△◎ *P. lingūa* (Tunb) Faxwall ヒトツバ 横南. 領北海岸沿い. 杉達.

△◎ *P. hastata* (Thunb) Ching イワオモタカ 三方 (+) (Hovi)

△◎ *Lemmaplyllum Microphyllum* presl マメツタ 領南山地. 領北海岸山地.

△◎ *Blechnum amabile* Makino オサシタ 烏岳 (Hovi) 根茎横臥. 卵形
うすい. Scale にてシシカシラと圧別.

Microsorium ヌカボシシタ属

⑩◎ *M. ensatum* (Thunb) H. ITO クリハラン 若狭本郷. 野尻 (1955)

△◎ *M. subhastatum* (Baker) ching ヤノネシタ 若狭三方町

Vittaria レレらん属

△◎ *V. flexuosa* Fee シシラン 若狭-谷口有林 黒河口有林 (Hovi)

Lycopodium ヒカケノカツラ属

△◎ *L. cernuum* L ミスズキ 敦賀松原

△◎ *L. inundatum* L ヤチスギラン 越前新保池河内 (Hovi)

Selaginella イワヒバ属

△◎ *S. rupestris* Spring f *sibirica* Milde ヒモカツラ 若狭青葉山. 越
前南条

Equisetum トクサ属

△◎ *E. limosum* L ミスドクサ 池河内(新保) (Hori)

註 △◎ は旧目録にのっているもので. 小生の越前東部羊歯目録にのっていないもの.
又②◎ は旧目録にも所載されず新採集のもの. × は旧目録にあるが. 現在見当らず採
消した方がよいのではないかと思われるもの. (× に該当するものに. ヒツユウヒ
カケワラビ. タキミシタ. オオシゲテシタ) 等です. 又ホボノカワシタ *Dryopteris*
shikokiana は一つ谷に往時とれましたが(河野璋一氏 1929. 京大標本(田川
) 現在未だ採用されて居りません. 追記します. 新に目録に附加すべきもの 10 (種
変種. 岳種を入れて) *Hymenophyllaceae*. 又 *Dryopteris* のイタチシタの類の
ものは今後の研究により. より正確にして又御報告致します.

Genus = Name は Cope land のものを使用せず元の方法にしたので幾分の違はある
かもしれません.